

公表

放課後等デイ・児童発達支援サービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイ・児童発達支援ミーサ		
○保護者評価実施期間	2024年11月15日		2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年11月15日		2024年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外での遊び、活動が日常でも実施しているところ	公園が近くにあるため、短い時間でも、運動できるチャンスがあれば、屋外での活動を積極的に取り入れるようにしています	屋外に出たがらない方ほど運動が必要だと考えられるので、屋外活動に楽しく参加できるように促していきたい。
2	ご家庭で出来ないような体験を出来るように企画を行っている。	他の放課後等デイ、ご家庭では困難と思われるような体験を実現するための、企画・実施を積極的に行うようにしています。	ご利用者様にとって将来ためになるような体験を常に考え、実現の労力を惜しまないようにしたいです。
3	宿題や学習を完遂することを職員全員が共通意識として持っていること。	職員を多めに配置することで、宿題に取り組みやすくしています。また、登所してすぐに宿題に取り掛かれる雰囲気づくり、学習室の構造化を行っています。	ご利用者様と職員の信頼感を高め、学習意欲をご利用者様に高めていただくような取り組みをしていくとともに、自立して学習に取り組めるよう促していきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	天候等で週末イベントなどに変更があったり、告知が遅いこと。	週末に向けての天候などの予測は出来ているが、代替イベントの立案が遅いため、結果、告知が遅くなっている。	週末に向けての天候などの予測を早めに行い、代替イベント立案を早くすることで、保護者様・ご利用者様への告知を早め、スムーズに対応できるようにしていきたい。
2	物理的なスペースが狭いため、学習に集中させづらい。雨天時に過ごしづらいため、無用ないさかいを起こしがち。	雨天時対応が具体的に計画されていない。雨天時の過ごし方のルールが確立されていない。	雨天時の対応を事前に計画、周知しておくとともに、雨天時でも楽しく過ごせる場所の確保を行う。
3	開業してからの年次が浅く、職員の経験も浅い。また、正職員がまだ定着できているとは言い難い。	職員の職掌が明確でないことで、職員の働きに迷い、戸惑いがある。	職員の職掌を明確にすることにより、職員の定着を図る。経験年数のある職員からの技術的なOJTを行い、楽に仕事が出来る工夫を行う。